

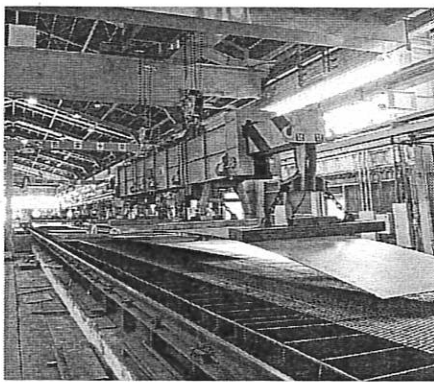
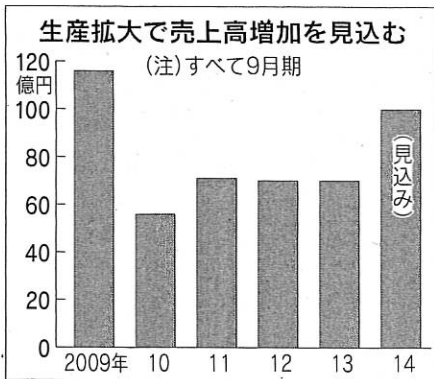
岡山に鋼材加工新工場

桂スチール

岡山県に生産拠点を置く鋼材加工の桂スチール（兵庫県姫路市）は、岡山県玉野市に新工場を建設する。既存拠点の隣接地を取得して新たな工場棟を設ける。主力製品である高強度のH形鋼を中心に、全体の生産能力を約15%引き上げる。投資額は2億8000万円。東北地方の復興需要や、都市部での高層ビルの建設増加を背景とした鋼材需要の伸びに対応する。

高強度H形鋼を増産

高層ビル・復興需要に的



三井物産子会社から土地・建物を取得して昨年10月に本格生産を始めた玉野工場を増強する。新たに同工場の隣接地（約800平方メートル）を地元企業から取得し、建屋面積約500平方メートルの「玉野第2工場」を設ける。最新のプラズマ溶断機やレーザー切断機を導入する。このほか敷地内に別棟の溶接工場も建てる。それぞれ4月に着工し、今夏の稼働開始を目指す。

鋼材需要の伸びに対応する（岡山県玉野市の生産拠点）

桂スチールは鋼板をH形に溶接した「ビルトH鋼（BH）」を、厚板切断や組み立てといった一貫工程で製造・安定供給できるのが強み。国内で約4割のシェアを持つ。BHはビルの建築部材として広く使われており、

現在BHを月間5500ト生産しているが、新工場の稼働で全体の生産能力は約15%高まる見

通し。BHなどの鋼材製品は東北での復興需要が見込めるほか、首都圏や大阪など都市部で高層ビルの建設も増えており、足元の受注は前年比15%増で推移する。「生産が追いつかない状況が続いている」（三木桂吾社長）

ことから、体制強化を決めた。桂スチールの2013年9月期の売上高は前期比横ばいの約70億円。生産拡大などで今期は100億円を見込み、リマン・ショック前の水準まで回復する見通しだ。

や羽田空港ターミナルビルなどの建設工事への納入実績もある。玉野工場を含め岡山県内で5工場を運営する。

BHはビルの建築部材として広く使われており、

桂スチールは鋼板をH形に溶接した「ビルトH鋼（BH）」を、厚板切断や組み立てといった一貫工程で製造・安定供給できるのが強み。国内で約4割のシェアを持つ。BHはビルの建築部材として広く使われており、